構造工学委員会～橋梁の維持管理システム研究委員会
第１回委員会議事録

日　時：平成 25 年 9 月 24 日（火）15:00～17:30
場　所：土木学会・CD 会議室

出席者（敬称略，順不同）：中村，麻生，岩波，岩城，北原，岩崎，秋山，井口，大竹，小川，何，神谷，北根，金，舌間，高橋，津野，長井，野田，藤山，松崎，睦好，山根，細谷（オブザーバー），土方（オブザーバー）

配布資料：
資料 1-0　第１回委員会議事次第
資料 1-1　委員構成
資料 1-2　橋梁の維持管理システム研究小委員会 WG 構成
資料 1-3　新研究委員会概要
資料 1-4　点検マニュアル WG・活動メモ
資料 1-5　WG２（ライフサイクルマネジメント部会）活動方針（案）
資料 1-6　橋梁長寿命化 WG

議事
１．委員長挨拶
中村委員長より開催挨拶が述べられた.

２．委員挨拶
各委員より自己紹介がなされた．連絡先の修正があれば後刻の連絡を依頼した.

３．委員会の概要について
中村委員長より資料 1-3 にもとづき委員会の概要が説明された.

４．各 WG の活動方針について
① WG1 の活動について資料 1-4 にもとづき岩波主査より説明がなされた後、意見交換をおこなった．主な意見は次の通り.
- 点検データの整理の方法（どう活用するか）についての議論も必要ではないか
- 橋梁点検マニュアルを目指すのか
- 点検要領の横並び比較だけではなく，事象との比較も必要ではないか（点検要領の信頼性）
- メリハリのきいた点検ができるようなポイントを揚げて欲しい
- 定性的なものを定量的に評価するのではないか．その間のギャップを埋めるようなことを考えて欲しい

② WG2 の活動について資料 1-5 にもとづき岩城主査より説明がなされた後、意見交換をおこなった．主な意見は次の通り．

・活動内容は同時並行に進めるのか
・予防保全の再考は必要だろう
・“LCS”について
・安全性はどういう指標か
・橋梁の安全性を一律に評価可能な手法とは
・ライフサイクルパフォーマンスと同じか

③ WG3 の活動について資料 1-6 にもとづき秋山副主査から説明がなされた後、意見交換をおこなった．主な意見は次の通り．

・他の WG との住み分けについて
・実態調査は WG メンバーに限らない．WG1 との協働も良い．
・WG 間の情報交換を密に進めていく．

５．委員の追加について

① WG2 より大成建設から２名の追加要請があり認められた．また，WG2 に鈴木誠氏が参画予定との報告があった．

② 委員の追加について以下の意見があった．

・橋建，PC 建協，国総研，NEXCO などからの委員が必要．
・実際に作業している実務者（コンサル関係）の参加を募る．
・管理者が委員として参加するのは難しい

③ 追加の人選はメールにて連絡することとした．

６．今後の予定について

次回委員会を１/17（金）に開催することとした。